

慢性疾患診療のお悩みポイントまとめました

高血圧からヘルスマンテナンスまで

正誤表

このたびは『medicina』60 巻 2 号 (2023 年 2 月号) 特集「慢性疾患診療のお悩みポイントまとめました—高血圧からヘルスマンテナンスまで」をご購入いただきまして誠にありがとうございます。
本誌におきまして、以下の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

2023 年 2 月 13 日作成

訂正箇所	誤	正	掲載
松本百奈美・原田侑典「骨密度が検査できない場合、骨粗鬆症は診断できますか？ フォローの骨密度の測定は必要ですか？」(p.380～384) 内 p.383 左段 20 行目～右段 2 行目	そのため、 <u>ADL が低下した患者や超高齢者、BMD を行えない患者では BP 製剤による TTB はさらに短い可能性が高い。</u>	そのため、 <u>超高齢者、BMD を行えない患者では、BP 製剤による TTB まで生存できる可能性が低くなるため、恩恵を受けられる可能性も低いと考えられる。</u>	2023/2/13

